

熊本市 感染症発生動向調査 速報

今週のピックアップ感染症 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

これから少しずつ増加し、流行期に入っていきます。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は発熱・のどの痛み・イチゴのような舌（写真参照）が主な症状です。早めに治療を受けましょう。

◆どんな病気？

球型の、赤血球を壊す（溶血）毒素をもつ細菌による感染症のひとつで、主に学童期に多く、3歳以下の乳幼児や大人には比較的少ない病気です。

・症状……突然の発熱とだるさ、のどの痛みで発症し、イチゴのような舌が特徴です。嘔吐を伴うこともあります。

細菌の毒素により「猩紅熱」に進行すると、点状紅斑や日焼け様の皮疹が全身に広がります。合併症には、リウマチ熱や糸球体腎炎などがあります。

・潜伏期間…2～5日

・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、細菌が付いた手を介する接触感染です。主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭や学校での感染も多いです。兄弟間の感染率は25%とも言われます。

・流行期……冬季、および春～初夏に2つの流行ピークがあります。

◆かかったらどうすればいいの？

・抗菌剤による治療を行います。症状が改善しても、お薬は決められた期間きちんと飲みましょう。

・のどの痛みがひどい場合は、食事は柔らかく薄味にするなど工夫しましょう。水分補給を心がけましょう。

◆予防法は？

・症状のある人との密接な接触を避けることがとても大切です。手洗い、うがいもしっかりおこないましょう。



国立感染症研究所
 感染症センター
 「感染症の話」より抜粋

●まだまだインフルエンザにご注意を

感染症発生動向調査で、熊本市の定点医療機関あたりの報告数が、4.68（定点数25ヶ所、患者報告数117人）となりました。先週から警報レベルは解除されていますが、まだ患者の報告が続いています。同じシーズンに何回もインフルエンザにかかることもあります。引き続き感染予防に努めましょう。

期 間		平成30年 10週		平成30年 11週	
		3/5～3/11		3/12～3/18（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		176	7.04	117	4.68
RSウイルス感染症		7	0.44	7	0.44
咽頭結膜熱（プール熱）		1	0.06	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		21	1.31	27	1.69
感染性胃腸炎		65	4.06	77	4.81
水痘（みずぼうそう）		2	0.13	3	0.19
手足口病		3	0.19	6	0.38
伝染性紅斑（りんご病）		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		4	0.25	12	0.75
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		1	0.06	1	0.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）		7	1.40	4	0.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	1	0.20
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎（オウム病を除く）		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		1	0.20	3	0.60